

資料 4

峡南地域医療再生計画の推進に係る協議会・部会等の実施状況（平成25年度）

峡南地域医療再生計画の推進に係る協議・調整を行うため、峡南地域保健医療推進委員会の専門部会として設置した峡南地域医療連携協議会、及び同協議会の所掌事務を補助するため設置した各専門部会の活動状況は次のとおり。

峡南地域医療連携協議会

開催年月日	内 容
第8回 H25.8.9 19:00～20:00 (南巨摩合同庁舎会議室)	1. 各事業の取組状況と今後の方向性について 2. 第3次山梨県地域医療再生計画について（報告）
第9回 H26.3.25 19:00～20:00 (身延町役場 中富総合会館)	1. 専門部会の検討状況について（報告） 2. 各事業の取り組みと事業実績について（報告） 3. 今後の取り組み方針について

医療情報ネットワーク部会

開催年月日	内 容
第11回 H25.5.14 18:00～19:05 (鵜沢病院)	1. 患者情報共有システムのデモンストレーションについて
第12回 H25.10.11 18:00～19:10 (鵜沢病院)	1. 患者情報共有システムの概要及び進捗状況について（報告） 2. 患者情報共有システムの患者同意の確認方法について 3. 運用における課題について
第13回 H25.12.11 18:00～19:05 (鵜沢病院)	1. 試験運用の実施について 2. 本格運用に向けた課題について 3. 今後のスケジュールについて
第14回 H26.3.11 18:00～19:20 (鵜沢病院)	1. 試験運用の状況について（報告） 2. 本格運用に向けた課題について

在宅医療支援部会

開催年月日	内 容
第10回 H25.6.17 18:30~20:00 (中富すこやかセンター)	1. 第3次地域医療再生計画(案)における在宅医療対策について 2. 在宅健康管理システム整備事業について
第11回 H26.3.4 18:30~ (中富すこやかセンター)	1. 在宅医療関係事業の実施状況等について ①在宅医療支援センター設置事業 ②在宅健康管理システム整備事業 ③地域医療従事者育成支援事業・地域医療従事者研修奨励金交付事業 ④在宅歯科医師育成事業・在宅歯科診療設備整備事業・基幹薬局体制整備事業 2. 在宅医療推進事業について

在宅医療支援部会 作業部会

開催年月日	内 容
第1回 H25.7.9 18:30~20:30 (身延町役場)	1. ワーキンググループの設置と検討スケジュールについて 2. 在宅健康管理システムの現状と課題について 3. 先進事例視察について
第2回 H25.8.1 (先進地視察)	東京都世田谷区 桜新町アーバンクリニック 神奈川県横浜市 睦町クリニック
第3回 H25.9.2 18:30~20:30 (飯富病院)	1. 先進地視察報告 2. システムの見直しに向けた検討
第4回 H25.12.26 18:30~20:10 (身延町役場)	1. 情報連携のトライアルとシステム見直しに向けたアンケート結果 2. システムの見直しについて
第5回 H26.2.3 19:00~20:30 (飯富病院)	1. 「富士通 Human Bridge 在宅」の採用について 2. 「富士通 Human Bridge 在宅」のデモンストレーション 3. システム整備の進め方について

<p>           峡南地域在宅医療・ケアを考            える研修会            H25.12.8            13:30～16:30            (身延町総合文化会館)         </p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 情報提供 (峡南地域における在宅医療・ケアの取組み)</li> <li>2. 講演「峡南地域の在宅医療の現状と峡南地域でできる在宅医療のあり方」 講師 南部町国民健康保険診療所 市川万邦所長</li> <li>3. 多職種協働による在宅チーム医療のリーダー研修会 グループワーク他</li> </ol>
---	---

# 地域医療再生計画 事業一覧(峡南医療圏)

対策	事業名	事業費(計画) (単位:千円)					具体的な事業内容	事業実績	
		H22-25計	H22	H23	H24	H25			
I	医療従事者の確保	1	260,000				山梨大学に寄附講座を開設し、圏域内の病院に設置する地域医療研修センター内に、大学から派遣された指導医及び研修医を配置する。 (寄附先: 山梨大学)	H25年11月1日 山梨大学に地域医療臨床研修寄附講座1を開設。 寄附金額 40,000千円 勤務病院に常勤医1人(病理)を派遣(H26は常勤3人を予定)と 勤務病院の共通電子カルテ導入を支援。 (峡南北部二病院統合事務組合へ220,000千円)	
		2	14,040	3,120	4,680	6,240	現行の奨学金制度と併せ、北里大学に地域医療医師確保枠を設定し、早稲山梨で医療に従事することを条件に修学資金の貸与と制度を新たに設ける。 (貸与先: 山梨大学)	H23年度: 地域枠入学者2名に対し、修学資金を貸与。 H24年度: 地域枠入学者1名に対し、修学資金を貸与。(貸与者計3名) H25年度: 地域枠入学者1名に対し、修学資金の貸与。(貸与者計4名)	
	小計	274,040	3,120	4,680	266,240				
II	医療機関の連携の推進	3	58,887	17,557	6,143	24,685	10,502	・地域医療連携協議会の開催 9回(H22~H25) ・医療情報ネットワーク部会、中南部地域医療連携部会、北部地域医療連携部会等の開催 ・地域医療体制調査検討委員会への支援(H22~23) ・中南部地域を対象とした医療連携基礎調査の実施(H23) ・患者情報共有システム実施設計業務委託(H23) ・峡南北部地域における病院統合に関する基本計画策定を支援(H24) ・峡南北部二病院の経営統合に係る業務支援(H25)等	
		4	15,000				15,000	市川三郷町立病院と諏訪病院を結ぶシャトルバスの購入及び運行経費を支援。 ・H25年4月からシャトルバスの運行開始(委託運行) ・H26年4月から新車両による運行開始	
		5	185,432			179,686	5,786	峡南地域6病院の患者情報(処方、検査、画像等)を共有するシステムを開発。 (開発事業主体: 諏訪病院) 平成26年4月から本格運用開始予定 参加事業者 6病院の他に地域の診療所、訪問看護ステーションなど ※詳細は「専門部会報告」とおり	
		6	1,306,483			399,744	906,739	＜北部地域＞ 市川三郷町立病院と諏訪病院は、平成26年4月に経営を統合し、峡南医療センターとして開院することと決定 北部3病院は、次々とおり機能分担を行うことと合意。 ・諏訪病院(峡南医療センター富士川病院)は基幹診療型病院 ・市川三郷町立病院(峡南医療センター市川三郷病院)は総合診療型病院 ・峡南病院はケアミックス型病院 (病院別支援額) 二病院統合事務組合 768,525千円(諏訪病院の買取含む) 63,358千円 峡南病院 ＜中南部地域＞ 各病院が得意とする分野を強化することで、医療連携を推進していくことと合意。 ・飯富病院は総合診療、2次救急、在宅医療 ・身延山病院は総合診療、2次救急、手術 ・しもべ山病院はリハビリ、長期療養の分野を強化 ・3病院と距離が離れた南部町については町営診療所の機能強化を要請 (病院別支援額) 飯富病院 195,821千円 身延山病院 188,711千円 しもべ山病院 68,324千円 南部医療センター 22,000千円	
		7	395,134	50,127	163,464	181,543	181,543	圏域内で対応できない重篤な救急患者について、県内唯一の救命救急センターである県立中央病院への搬送体制を整備するため、ドクターヘリの導入及び運航に必要な経費の助成を行う。 着陸場の整備を図る。 (補助先: 県立中央病院、各町)	H23年度は、H24年4月からドクターヘリ運航開始に向けた施設整備を実施。 H24年度及びH25年度は、各町における新たな救急搬送ヘリポートの整備やドクターヘリの運航に対する助成を実施。 (ドクターヘリ救急搬送拠点整備の実施状況) ・市川三郷町(下丸一色中学校跡地) ・富士川町(十谷暮落内) ・身延町(古閑小学校跡地) ・中部中学校跡地 ・早川町(ウイラ両御院跡地、湯島の湯沼駐車場内) ※詳細は「別紙」とおり

対策	事業名	事業費(計画)(単位:千円)					具体的な事業内容	事業実績
		H22-25計	H22	H23	H24	H25		
II	医療機関の連携の推進						甲府の小児初期救急医療センターが、大規模地震等があった場合にも安心して患者を受け入れられる体制を確保するため、耐震性を有する施設の整備に対し助成を行う。 (補助先: 甲府市)	甲府地域医療センターの現在地における建て替え経費を支援 平成26年4月 新センターオープン 施設面積 3,280.3㎡ うち小児初期救急部門 649.8㎡
	在宅医療支援センター整備事業	200,000		34,324	165,676			
	小計	2,160,936	17,557	56,270	801,853	1,285,256		在宅医療支援部会の開催 11回(H22~H25) ワーキング部会の開催 5回(H25) ※詳細は「専門部会報告」のとおり
III	在宅医療支援協議会設置事業	1,628	499	332	214	583	在宅医療に係る諸課題を多職種間で協議し、総合的な対応方策を検討する協議組織を設置・運営する。 (県直営事業)	
	在宅医療支援センター設置事業	32,417		14,400	9,217	8,800	在宅医療全般に対する相談機能とともに、訪問看護ステーションや医療機関等を調整する機能を持つ支援センターの設置に対し助成を行う。 (補助先: 飯富病院)	平成23年4月15日 飯富病院内に城南在宅医療支援センターを開設。 ・スタッフ 3名(センター長(医師)、保健師、社会福祉士) ・主な業務 在宅患者及びその家族等からの相談対応 在宅かかりつけ医の支援 医療・福祉・保健関係者の連絡調整 ・平成25年12月 城南在宅医療センターの運用開始 急遽医療機関 6病院、14診療所、9歯科診療所 (H26年2月時点) ※詳細は「専門部会報告」のとおり
	在宅健康管理システム整備事業	26,334		4,755	2,879	18,700	適切な時期に医師が在宅医療を行えるよう、在宅患者のバイタル数値や顔色等の情報が病院内に伝えられる機器を貸与する体制の整備に対し助成を行う。 (補助先: 飯富病院)	平成23年度～予レビ電話機能を有する携帯電話により、患者の表情や患部の画像等を在宅医療関係者が共有し、適切な処置を実施するため、城南全域の医療や介護関係事業所等に56台の機器を配布し運用。 平成25年度 在宅医療に携わる医師や介護関係者間で患者の病状や互いの活動記録等の情報共有がでできるシステムを整備。 ※詳細は「専門部会報告」のとおり
	地域医療従事者育成支援事業	3,659	1,212	1,356	696	395	地域医療を志す医療従事者を確保するため、育成プログラムの作成や受け入れに要する経費(指導者人件費等)に対し助成を行う。 (補助先: 飯富病院、市川三郷町立病院、飯求病院)	H22年度 医師・看護師の研修プログラムを作成。 H23、9月～24、3月 看護師1名(市川三郷町立病院)が看護師研修を実施。 平成23年度～ 地域で医療等に従事している者を対象にした一般研修を、各病院において実施。 ※詳細は「専門部会報告」のとおり
	地域医療従事者研修奨励金交付事業	210		210	0	0	医師等の地域医療従事者育成プログラムによる研修参加を促進するため、研修に参加する医師、看護師に奨励金を交付する。 (県直営事業)	H23年度 看護師研修の受講者に対し、奨励金21万円を交付。 (3万円×7か月分) ※詳細は「専門部会報告」のとおり
	在宅歯科医師育成事業	12,000	3,000	3,000	3,000	3,000	在宅歯科診療に従事する歯科医師の確保を図るため、知識や技能を習得させる講習会の開催経費に対し助成を行う。 (補助先: 山梨県歯科医師会)	平成22年度～25年度まで 県歯科医師会において次の研修を実施。 ・療養下歯科医師養成研修 10人程度/年 ・障害者診療歯科医師養成研修 6人 ・訪問診療歯科医師等養成研修 80人 ・口腔ケア等普及研修 40人 ※詳細は「専門部会報告」のとおり
	在宅歯科診療設備整備事業	4,708		4,708			歯科医師の在宅診療への参入を促進するため、ポータブル診療ユニットの導入に対し助成を行う。 (補助先: 山梨県歯科医師会)	H23年度 在宅診療用のポータブル診療ユニット(2セット)を整備。 ※詳細は「専門部会報告」のとおり
	高齢薬局体制整備事業	6,000		6,000			薬局の在宅診療への参入を促進するため、薬剤の無菌調剤を行えるクリーンベンチの整備に対し助成を行う。 (補助先: 基幹薬局)	H23年度 富士川町のレモン薬局に、無菌調剤室やクリーンベンチを整備。 ※詳細は「専門部会報告」のとおり
	小計	86,956	4,711	34,761	16,006	31,478		
	事業執行資金	0				0		
合計	2,521,932	22,268	94,151	822,539	1,582,974		基金運用益 平成25年度末までの累計 21,932千円	

## 今後の取組について

### 1 専門部会について

峡南地域医療再生計画の推進に係る協議・調整を行うため、峡南地域保健医療推進委員会の専門部会として設置した峡南地域医療連携協議会及び各部会は、初期の目的を達成したため、平成25年度3月末をもって廃止となった。

### 2 継続事業について

#### No.2 医学部生に対する修学資金貸与事業

北里大学に設置した地域医療医師確保枠を継続し、本県医療に従事する医師の確保を図る。

#### No.5 患者情報共有システム整備事業

峡南医療センターを事務局とする「峡南地域患者情報共有システム運営協議会」が自主的に運用・管理し、さらなる医療情報共有化を推進することにより、効率的な医療提供体制を確保するとともに、診療時における患者負担の軽減を図る。

#### No.9 在宅医療支援協議会設置事業

地域医療連携協議会の専門部会である在宅医療支援部会に代わり設置を予定する、在宅医療多職種連絡会議（仮称）の場において、在宅医療に係る課題解決に向けた協議を継続する。

#### No.10 在宅医療支援センター設置事業

峡南5町が事業主体となり、飯富病院に設置した「峡南在宅医療支援センター」の運営を継続する。将来的には、在宅医療に対するニーズ等を勘案したうえで、峡南医療センター等への分所（ランチ）の追加設置についても検討を進める。

#### No.11 在宅健康管理システム整備事業

医療・介護等の関係機関の内、45機関79台の希望があった。平成26年7月を目標に、新システム（コメット）の運用を開始し、在宅医療における多職種間の効率的な情報連携の推進を図る。

#### No.12 地域医療従事者育成支援事業

医師及び看護師の中期研修については、25年度をもって研修奨励金の支給等が終了したが、地域医療に貢献する医師及び看護師の育成を目的とした研修プログラムは策定済みであることから、このプログラムを積極的に活用し、相互に連携を図りながら、各病院における独自事業として進める。

地域の医療関係者が参加できる一般研修についても、医療従事者の技術向上や地域定着を図るため、各病院における独自事業として進める。

### 3 事業成果の評価・報告について

地域医療再生計画で実施した事業について、継続的に検証・評価を行う必要があるため、当委員会において報告を行っていく。また、推進委員会委員ではない協議会の委員に対しては、個別に資料を配付するとともに、県ホームページで広く周知する。